

ク リ (黒ボク土)

〔土壤肥料〕

深根性の樹種であり、深い有効土層(60cm以上)が必要である。このため、保水性、透水性が良好で、有機質の多い土壌を好む。また吸肥力が強く、特にリン酸は難溶性でも吸収する。

施肥時期については、基肥を中心とし、その成分が春先までに根域に届くよう工夫する必要がある。これは窒素吸収が発芽約1ヶ月前から始まり、その後の生育に伴い吸収量が増加するためである。

土壌表面管理は、清耕法、草生法、有機物によるマルチ法などがある。土壌中の有機物を増加させ、土壌団粒化の促進を最大限に生かす工夫をする。

〔病害虫・雑草防除〕

胴枯病、実炭疽病対策は、密植をさけ、競合による樹勢低下を起こさせないことである。また、通風、日射を良好にするせん定に心がける。モモノゴマダラメイガは、クリ圃場周辺のモモ、スモモなどへの寄生も考慮し、発生周期をとらえ的確に防除する。低樹高化し、薬剤が株全体に効率よく散布できるよう樹形改善が大切である。

区 分	持続性の高い農業生産方式の内容	使用の目安
有機質資材 施用技術	深耕時に堆肥を計画的に施用する。なお、堆肥は低成分含量堆肥(稲わら堆肥及び落葉堆肥等で、窒素、カリ含量が1%以下の完熟したもの)を基本とする。肥料成分含量の高い畜産系堆肥の施用にあたっては長期的な視点にたった投入量管理を行う。	有機物 (または堆肥) 1.5~2t/10a
化学肥料 低減技術	根域への表層施用による基肥を基本とした施肥を行う。 有機質肥料による施肥を行う。	成分量で施肥基準 以下 有機質肥料併用の 場合には化学肥料 低減率20~50%
化学農薬 低減技術	機械除草を行う。 B T剤をローテーション散布に位置づける。 (対象:ケムシ類、ハマキムシ類)	慣行使用回数の 20%減
その他の 留意事項	樹勢が低下すると、クリタマバチの寄生や胴枯病の発生頻度が増えるため、一定の樹勢を保つよう注意する。 若木のうちは、樹冠下清耕またはマルチ法とし、クリ樹と雑草との養水分の競合をさける。 耐病性品種を用い、適正なせん定を行い、風通しを良くする。 (対象:実炭疽病) 耐虫性品種を利用する。 (対象:クリシギゾウムシ、クリタマバチ) ワイヤーブラシなどによる越冬卵の除去 (対象:クリオオアブラムシ) 樹形改善(樹高を3.5m以下にし、毎年せん定する) 落葉落枝は圃場外除去するか、浅い溝を掘り落下させ、周辺への拡散を防ぐ。 施肥量の基準は樹齢、樹体に応じたものとする。	

ク リ (灰色低地土)

〔土壤肥料〕

深根性の樹種であり、深い有効土層(60cm以上)が必要である。このため、保水性、透水性が良好で、有機質の多い土壌を好む。また吸肥力が強く、特にリン酸は難溶性でも吸収する。

施肥時期については、基肥を中心とし、その成分が春先までに根域に届くよう工夫する必要がある。これは窒素吸収が発芽約1ヶ月前から始まり、その後の生育に伴い吸収量が増加するためである。このため、生育期間中根域に養分が保持されるよう、灰色低地土では有機物の投入や分施する必要がある。

土壌表面管理は、清耕法、草生法、有機物によるマルチ法などがある。土壌中の有機物を増加させ、土壌団粒化の促進を最大限に生かす工夫をする。

〔病害虫・雑草防除〕

胴枯病、実炭疽病対策は、密植をさけ、競合による樹勢低下を起こさせないことである。また、通風、日射を良好にするせん定に心がける。モモノゴマダラメイガは、クリ圃場周辺のモモ、スモモなどへの寄生も考慮し、発生周期をとらえ的確に防除する。低樹高化し、薬剤が株全体に効率よく散布できるよう樹形改善が大切である。

区 分	持続性の高い農業生産方式の内容	使用の目安
有機質資材 施用技術	深耕(約60cm)時に堆肥を計画的に施用する。その際断根を極力少なくする。 有機物(または堆肥)によるマルチ施用。堆肥は完熟した低成分含量堆肥(稲わら堆肥及び落葉堆肥等で窒素、カリ含量が1%以下の完熟したもの)を施用する。	有機物 (または堆肥) 1.5~2t/10a
化学肥料 低減技術	根域への表層施用による基肥を基本とした施肥を行う。 有機質肥料による施肥を行う。	成分量で施肥基準 の10~20%減 有機質肥料併用の 場合には化学肥料 低減率20~30%
化学農薬 低減技術	機械除草を行う。 B T剤をローテーション散布に位置づける。 (対象:ケムシ類、ハマキムシ類)	慣行使用回数の 20%減
その他の 留意事項	樹勢が低下すると、クリタマバチの寄生や胴枯病の発生頻度が増えるため、一定の樹勢を保つよう注意する。 若木のうちは、樹冠下清耕またはマルチ法とし、クリ樹と雑草との養水分の競合をさける。 耐病性品種を用い、適正なせん定を行い、風通しを良くする。 (対象:実炭疽病) 耐虫性品種を利用する。 (対象:クリシギゾウムシ、クリタマバチ) ワイヤーブラシなどによる越冬卵の除去 (対象:クリオオアブラムシ) 樹形改善(樹高を3.5m以下にし、毎年せん定する) 落葉落枝は圃場外除去するか、浅い溝を掘り落下させ、周辺への拡散を防ぐ。 施肥量の基準は樹齢、樹体に応じたものとする。	